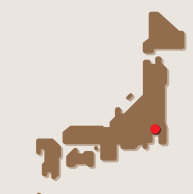


— 土と水と緑の技術で社会に貢献します —

国土防災技術 株式会社

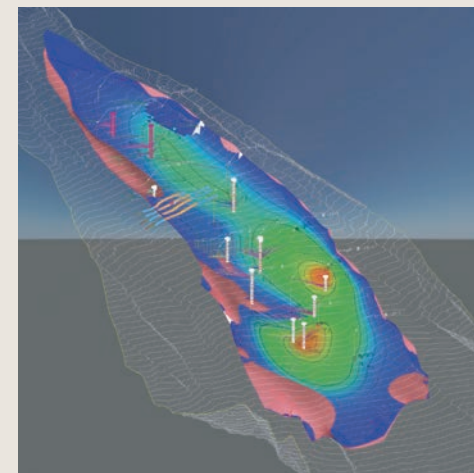
所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番5号
 TEL : 03-3436-3673 (代表)
 FAX : 03-3432-3787
 URL : https://www.jce.co.jp/
 従業員：460名
 創立：1966 (昭和41) 年5月2日
 代表者：相川 裕司



地すべり調査・設計



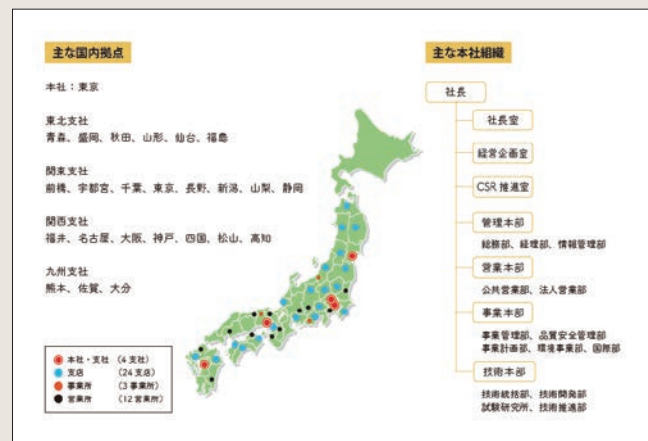
アンカー工・のり枠工



地すべりのCIMモデル



50周年記念式典



全国の技術者ネットワーク



ドバス描画体験実施状況



森林整備・保全活動

会社概要

当社は、1966 (昭和41) 年5月2日に斜面防災分野の専門家集団として産声を上げました。創業以来、「土と水と緑の技術」をベースに自然災害対策に関わる建設コンサルタントとして長年研鑽を積み、58周年を迎えました。

設立当初は、東京五輪後で多くの国土開発が実施されていた時期であり、「正しい開発は、正しい防災対策を前提とする」として防災対策を専門としていました。現在は「土と水と緑に関する優れた技術を追求め、住みよい国土の建設と国民の福祉に貢献する『永遠の会社』を目指す」を会社理念として、自然災害が頻発化・激甚化する中、創業から50年以上にわたって培ってきた技術力を活かして顧客のニーズに的確に対応しています。自然環境との調和に配慮しながら、安全・安心に暮らせる国土づくりのため、自然災害から社会生活を守る技術サービスを多岐にわたって提供しています。

当社の強み

①全国の技術者ネットワーク

当社では地球環境に関する課題対応やインフラの長寿命化対策、ソフト対策等に関する幅広い分野に取り組む中で、特に災害対応に注力しています。発災後すぐに災害現場に駆け付けて対応できる体制を整えるため、4支社・24支店・3事業所・12営業所を配置しています。最新の斜面防災対策技術に関する知見を有した技術者を全国に配置し技術者ネットワークを構築することで、迅速かつきめ細やかな災害対応を可能にしています。

②ニーズに対応した技術サービスの提供

国内外の自然災害に対する防災のニーズに応えるべく、コンサルティング事業、インフラ整備・メンテナンス、研究開発の3つの柱で事業展開を図っています。

コンサルティング事業では、特に国内の地すべり対策事業をリードしてきた経験と技術をもとに斜面防災分野や治山・林道分野、河川・砂防・海岸分野等の調査・計画・設計と一連した技術サービスを提供してい

ます。

インフラ整備・メンテナンスでは、斜面防災分野のコンサルティングを通じて蓄積した豊富な知識と経験に裏付けされた的確な施工技術をもって、対策工事を行うことにより、安全で安心して暮らせる国土づくりに寄与します。インフラ長寿命化計画に基づいた施設点検等の社会資本整備に寄与する応用技術を提供しています。

研究開発では、自社保有技術を一步高いレベルに引き上げ、顧客ニーズに的確かつ柔軟に応えるため、InSAR対応技術やBIM/CIM、各種シミュレーション技術、空間情報技術の開発に取り組んでいます。

③積極的なCSR活動への参画

社会に必要とされる永遠の会社を目指すため、前述した当社の基幹事業を通じて培った知見を活用し社会貢献を果たしていくよう、全国でCSR活動として森林整備・保全活動や環境・防災教育に取り組んでいます。

森林整備・保全としては、地域と協働して取り組む

森づくりや東日本大震災跡地等での海岸林再生、特別名勝「虹の松原」での保全等に取り組んでいます。森づくり活動では、昨年「森林×脱炭素チャレンジ2023 森林づくり部門 林野庁長官賞優秀賞」を受賞しました。

環境・防災教育は、土質試験のために採取した地すべり面粘土を再利用した土のバステル「Dopas (ドバス)」、カードゲームで災害時の避難行動を考える防災教育教材「避難行動訓練EVAG (豪雨災害編)」を制作し、環境や防災を考えるきっかけづくりとしてアートワークショップや防災教育を展開しています。

おわりに

当社の目的は「技術で社会に貢献すること」であり、創業58年を超えた今日でも「会社を支える人材は変わろうと会社は永遠でなければならない」という創業者の固い信念を胸に、維持・継続してまいります。

(文：営業本部 法人営業部 企画広報課／課長補佐 田中 真央)